

## 新潟県立看護大学紀要投稿要項

(平成 23 年 9 月 15 日施行)

改正 平成 24 年 5 月 17 日

改正 平成 25 年 4 月 1 日

改正 平成 27 年 4 月 1 日

改正 平成 29 年 4 月 1 日

改正 令和 2 年 1 月 22 日

改正 令和 4 年 4 月 1 日

### 1. 目的

この要項は、新潟県立看護大学紀要規程第 10 条に基づき、投稿原稿に関して必要な事項を定める。

### 2. 投稿資格

紀要への投稿者となることができる者は、新潟県立看護大学紀要規程第 3 条に定める者とする。

### 3. 著者資格

著者とは、原稿の根幹を成す研究に重要な知的貢献をした者であり、以下の 2 つを満たしていなければならない。

①研究の着想、デザイン、研究データの入手、分析、解釈に実質的な貢献をした者

②原稿の作成・校閲に主体的に関与して最終原稿を承認し、原稿の内容に責任を負える者

### 4. 投稿原稿の種類

投稿原稿は、紀要規程第 5 条に定める以下の種類の論文とし、いずれも未発表のもの、あるいは未投稿のものに限る。

① 総説：ある主題についての研究の総括、論説 特定のテーマについて多面的な知見ならびに文献を検討し、総合的に概説したもの

② 原著：独創的な研究による、新しい知見が科学的に示されている論文

③ 短報：予報的または速報の意義があると認められるもの

④ 報告：論文としての完成度は総説・原著論文に及ばないが、研究成果の意義が明らかで、発表する価値が高いもの

⑤ 資料：上記①～④の論文種類に該当しないが、資料的価値があると認められるもの

### 5. 倫理的配慮

紀要規程第 6 条に該当する研究は、本学あるいはその他の倫理審査会等の承認を得たこと、および承認番号を付記して本文中に明記する。

### 6. 利益相反

投稿原稿の根幹を成す研究の遂行や論文作成における利益相反の状況を本文中に明記する。

### 7. 投稿原稿の受理

投稿要項に適合しない原稿は受理しない。

## 8. 執筆要領

(1) 原稿の構成は、以下の順とする。

- ① タイトルページ (1枚)
- ② 英文 Abstract (1枚)
- ③ 和文要旨 (1枚)
- ④ 本文 (引用文献を含む)
- ⑤ 図 (写真) および表

(2) 本文は A4 版、横書きとし、和文の場合は 1 枚に 40 字×20 行 (英字、数字、記号は半角) とし、英文の場合は行間をダブルスペースで 20 行とする。句読点は「.,」に統一する。本文と図 (写真) および表 (④+⑤) の枚数は以下の通りとする。図および表は、和文・英文ともに 1 点当たり原稿 1/2 枚として本文とは別に枚数を計算する。

- ① 総説 20 枚以内 (英文の場合は 24 枚以内)
- ② 原著 20 枚以内 (英文の場合は 24 枚以内)
- ③ 短報 10 枚以内 (英文の場合は 12 枚以内)
- ④ 報告 15 枚以内 (英文の場合は 18 枚以内)
- ⑤ 資料 10 枚以内 (英文の場合は 12 枚以内)
- ⑥ その他 10 枚以内 (紀要委員会 (以下「委員会」という) が認めたもの) (英文の場合は 12 枚以内)

(3) タイトルページには、希望する論文種類、表題、著者名、所属、英文表題、英文著者名、英文所属、キーワード (5 語以内)、keywords (5 語以内)、第 1 著者連絡先 (住所、メールアドレス、電話番号) を、この順で記す。

(4) 和文要旨は 400 字程度、英文 Abstract は総説、原著のみに付すこととし、250 words 程度とする。和文要旨の文字数、英文 Abstract の語数は、最終文の後ろに表記する。

(5) 英文については、著者の責任において投稿前に native speaker による校閲を受ける。英文 Abstract は、native speaker (英語を母国語とする人) による校閲を受けたことを示す証明書 (書式は任意) を添付する。

(6) 本文には、下部中央にページ番号を入れる。

(7) 図 (写真) および表

- ・ 図 (写真) および表は、別紙に一つずつ作成する。
- ・ 図 (写真) の題名・説明は図 (写真) の下に、表の題名は表の上につける。
- ・ 図 (写真) および表の本文への挿入箇所は、本文原稿の右側余白に図表番号を記入 (電子ファイル上に入力) する。
- ・ 表は原則として横罫線のみで表示し、縦罫線は表示しない。縦罫線のかわりに十分な空白を置く。

(8) 外国の人名、地名などは、なるべく原綴を使用する。

(9) 度量衡の単位は、国際単位系 (SI) に従う。

(10) 文献の記載

文献は本文に引用したものに限り、かつそのすべてを記さなければならない。文献

を記載する際は、英字、数字、記号は半角で、カンマ「,」、ピリオド「.」、セミコロン「;」の後ろに半角スペースを入れる。記載方法は、アメリカ心理学会 (American Psychological Association、以下APA) が定めるAPA方式に準じて以下に示す方法による。

※以下、□は半角スペース入力位置を表す

- a. 本文中の文献引用箇所は、著者名と出版年を括弧表示する。
- ・2名の共著の場合は、著者名の間を、著者名が和文の場合はカンマ「, □」で、英文の場合はアンパサンド「□&□」でつなぐ。  
(例) “江藤, 前田(2012)は、…” または “…している(江藤, 前田, 2012).”  
(例) “Eto & Maeda(2012)は、…” または “…している(Eto & Maeda, 2012).”
  - ・共著者が3名以上の場合は、筆頭著者名に、著者名が和文の場合は「ら」、英文の場合は「et al. □」を付す。  
(例) “田中ら(2012)…” または “…している(田中ら, 2012).”  
(例) “Tanaka et al. (2012)は、…” または “…している(Tanaka et al., 2012).”
  - ・異なる著者の文献を同一箇所引用する際は、セミコロン「;□」で区切って筆頭著者のアルファベット順に表示する。  
(例) ～とする結果が複数報告されている(江藤, 1999 ; 前田と長居, 2012).  
(例) Several studies have shown that～(Eto, 1999; Maeda & Nagai, 2012).
  - ・同一著者による出版年の異なる文献を同一箇所引用する場合は、出版年の昇順にカンマ「, □」で区切って列挙する。  
(例) ～についてはすでに報告されている(田中, 2001, 2004, 2006).  
(例) Previous studies have reported that～(Tanaka, 2001, 2004, 2006).
  - ・同一著者による同一出版年の複数の文献を引用する場合は、表題のアルファベット順に出版年の後に a, b, c・・・を付記する。  
(例) ～について報告されている(田中, 2004a, 2004b).  
(例) Previous studies have reported that～(Tanaka, 2004a, 2004b).
  - ・翻訳書を本文引用する場合は、原著者名、出版年は原書出版年、翻訳書出版年の順で半角スラッシュ「/」を用いて表示する。  
(例) “Benner(1984/1992)は、…” または “…している(Benner, 1984/1992).
- b. 文献リストは著者名のアルファベット順に列記する。共著者が7名までの場合は全員を表記する(英文の場合は、最終著者名の前にアンパサンド「□&□」を表示する)。共著者が8名以上の場合は、筆頭著者から6名までを表記してカンマ「, □」と省略記号(ピリオドと半角スペースを3回繰り返したもの「. □. □. □」)を示し、最終著者名を記載する。
- c. 文献リストは出典ごとにぶら下げインデント(1行目は通常の開始、2行目以降は全角1文字または半角2文字の字下げをした書式)で記載する。
- d. 出版年が不明な文献は、(n. d.)と表示する。
- e. 論文の表題と副題を区切る場合はコロン「: □」を使用する。

#### 【雑誌掲載論文】

著者名(出版年). □表題. □掲載誌名, □巻(号), □開始ページ数-終了ページ数.

※掲載誌名の略称は、日本語雑誌名は医中誌略誌名(医学中央雑誌刊行会)に、国際雑誌名は Index Medicus (アメリカ国立医学図書館)のタイトル略記(NLM Title Abbreviation)の所載に従う。両データベースに収録されていない場合はフルタイトルを表記する。

(例) 高柳智子, 吉川日和子, 橋本裕香, 高橋香織, 小林真由美, 吉澤正伊, . . . 加藤達雄.  
(2008). ベッドと車椅子間の移乗介助における介助者・被介助者の身体負担. 看護人間工学研究誌, 8, 27-33.

(例) Harton, B. B. (2007). Clinical staff development: Planning and teaching for desired outcomes. J. Nurses Staff Dev., 23(6), 260-268.

(例) Magtibay, D. L., Chesak, S. S., Coughlin, K., & Sood, A. (2019). Decreasing stress and burnout in nurses: Efficacy of blended learning with stress management and resilience training program. J. Nurs. Adm., 47(7/8), 391-395.

**【単行本】**

著者名. (出版年). 書名 (版数※初版は表記しない). 出版社名.

章の著者名. (出版年). 章の表題, 編者名(編), 書名 (版数※初版は表記しない) (pp. 最初のページ数-最後のページ数). 出版社名.

(例) 村上宣寛. (2006). 心理尺度のつくり方. 北大路書房.

(例) 池田由美子, 荒井美千代, 阿部妙子. (2010). 地震災害看護の展開. 日本赤十字社事業局看護部(編), 災害看護学・国際看護学(p.145). 医学書院.

**【翻訳書】**

原著者名. (原書の出版年/翻訳書の出版年). 翻訳者名(訳). 翻訳書名(版数※初版は表記しない). 出版社名.

(例) Rogers, M. E. (1970/1979). 樋口康子, 中西睦子(訳). ロジャース看護論. 医学書院.

**【オンライン出典】 Digital Objects Identifier(DOI)がある文献の場合**

著者名. (出版年次). 表題. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ数-終了ページ数. doi: DOI 番号 ※DOI 番号には、<http://dx.doi.org/>を記載しない

(例) 内布敦子. (2011). 巻頭言 日本看護科学学会の将来構想について考える機会にめぐまれて. 日本看護科学会誌, 31(1), 1. doi: 10.5630/jans.31.1\_1

**【オンライン出典】 Digital Objects Identifier(DOI)がない文献の場合**

著者名. (出版年次). 表題. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ数-終了ページ数. URL

(例) 関谷伸一. (2018). 看護大学でのブタ胎児解剖. 新潟県立看護大学紀要, 7, 1-8.  
<http://hdl.handle.net/10631/00001476>

**【ウェブページなど、逐次的に更新されることが前提となっているコンテンツ】**

著者名(公表時期). ウェブページの表題. URL(検索日 YYYY 年 M 月 D 日)

(例) 経済産業省. (n. d.). 教えて！経済産業省のしごと 社会の秘密を探しに行こう!. [http://www.meti.go.jp/publication/downloadfiles/kid\\_pamphlet.pdf](http://www.meti.go.jp/publication/downloadfiles/kid_pamphlet.pdf)(検索日 2013 年 1 月 17 日)

**9. 原稿の提出**

(1) 投稿原稿は所定のチェックリストにより、最終点検を行ったうえで、以下のものをそろえて、所定の期日までに提出する。投稿は書留による郵送または事務局紀要編集係に持参する。

① 投稿チェックリスト（最終点検の結果と実施年月日を記入し、第1著者が署名したもの）

② 印字された原稿4部(正本1部、氏名・所属を取り外し、著者を特定する事項(倫理委員会の名称と承認番号、利益相反、著者資格、謝辞等)を隠す処理(該当の記述は取り外さずに塗りつぶす)と行番号の表示をした副本3部)

(2) 掲載が決定した原稿は、以下のものをそろえて、所定の期日までに提出する。(提出された原稿、電子媒体は返却しない。)

① A4版の用紙に印字されたもの1部

② Word等のファイルとして保存したCD等の電子記録媒体(第1著者の名前、使用

した OS および Word 等のバージョンを付すこと)

③「投稿承諾書・著作権委譲承諾書」

10. 著者資格の記載

- (1) 投稿原稿における各著者の貢献内容を著者資格として記載する。
- (2) 投稿原稿の著者は、この要項「3. 著者資格」をすべて満たす者である。「3. 著者資格」の基準すべてを満たさない貢献者(資金の獲得、データ収集、または研究グループへの部分的な助言のいずれかのみを行った者)は謝辞に記載する。謝辞の記載にあたっては、関係者同士が事前に確認し合い了解を得るものとする。
- (3) 各著者の貢献内容は次のように記載する。(各著者の貢献について言及する際、イニシャルを用いること)  
(例) AB および CD は研究の着想およびデザインに貢献；EF は統計解析の実施および草稿の作成；GH は原稿への示唆および研究プロセス全体への助言。すべての著者は最終原稿を読み、承認した。

11. 校正

著者校正は、初校1回のみとする。

12. 別刷と経費

別刷は印刷しない。発刊にかかわる経費の著者負担は、ないものとする。

13. 原稿の提出先

〒943-0147 上越市新南町 240  
新潟県立看護大学 事務局 紀要編集係  
TEL 025-526-2811  
FAX 025-526-2815  
E-mail [tosyo@niigata-cn.ac.jp](mailto:tosyo@niigata-cn.ac.jp)

附 則

この要項は、平成 23 年 9 月 15 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 24 年 5 月 17 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 2 年 1 月 22 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。